

AZA加盟に向けたPTMへの参加について

1 概要

近年、動物園には科学的な動物福祉や種の保存、健全な運営が国際的に求められており、当園においても海外との動物の移動や保全活動について様々なハードルに直面している。そのため、国際的な動物園水族館協会である、Association of Zoos & Aquariums(AZA)への加盟を目指し、国際的な連携を強化に取り組むこととなった。

AZAは動物福祉やそのプロセスをはじめとした多岐にわたる基準を定めており、向こう数年をかけてAZA基準への準拠を目指していく。認証を円滑かつ短期間で得るため、令和8年3月には、AZAが用意する準備プログラムであるPathway Toward Membership(PTM)へ参加をし、同月に専門家の招聘を行い技術支援を受けた。

今後は専門家の技術的支援を受けながら飼育環境や運営体制の改善を計画的に進め、2～3年後の認証取得へ向けた基盤を構築していく。



● AZA - Association of Zoos & Aquariums

北米を発祥とし、動物園水族館における、教育、保全、研究の発展を支援する協会。飼育・動物福祉・保全・施設管理・安全管理、組織運営等、動物園の運営に関する包括的な認証基準を有する。特に動物福祉を重視した基準を定めており、動物福祉のゴールドスタンダードと言われる。

近年はアジアや南米、中東でも会員が増え、13カ国254の施設が加盟。令和8年5月時点で、日本国内に加盟園はない。

● PTM - Pathway Toward Membership

加盟を後押しするためにAZAが用意したプログラム。参加施設には、AZAから経験豊富なコーチが割り当てられ、助言や指導を通して1～5年間の間、申請・認証までのサポートを受けることができる。

当園のコーチは、カナダ・トロント動物園※のGrant Furniss氏(Director, Animal Care)が務める。



※ 令和8年3月、当園はカナダ・トロント動物園と「将来の保全に向けた戦略的パートナーシップ」を締結。

生物多様性の保全や気候変動への対応、運営・保全能力の構築、AZA認証に向けた協働等、共に取り組んでいくこととしている。

2 AZAへの加盟により期待されること

(1) 希少種の移動・交換

AZAの希少種保全計画の枠組みに参画することになるため、AZA加盟園館からの動物導入のチャンスが大幅に増加する。また、国際的な信用を得ることで、海外からの動物の譲渡や交換のハードルが大きく下がる。

(2) 国際的な保全の枠組みへ参画

共同保全活動やノウハウの共有

(3) 飼育技術や保全活動、環境教育の強化

AZA認証を機としてプロトコルの見直しや、動物の状態の評価に関する仕組みを取り入れることで、科学に基づいた客観的な体制が整備される。

3 進捗状況等

(1) 令和7年度の実施状況

令和7年11～12月 AZA加盟園へ職員派遣し調査を実施。

令和8年3月 PTMへ参加し、Grant氏ら専門家3名をカナダから招聘。

園内視察や職員向け研修を実施。

トロント動物園と将来の保全に向けた戦略的パートナーシップを締結

市民公開フォーラムを開催

(2) 主な取り組み事項

- 要項、マニュアル等、各種手順やプロトコルの整備
- 掲示物の更新、獣舎の破損箇所や危険個所の修繕、清掃
- 将来的な計画(コレクションプラン、保全活動、施設)等

4 今後のスケジュール(予定)

認証にあたっては、最終的にインスペクション(現地査察)を受け、AZAの承認を受ける必要がある。令和10～11年度の加盟を目指す。

年度	主な取り組み
令和8年度	基準の適合化に向けたタスクの具体化、情報収集とプロトコル整備・ドキュメント化、コーチ招聘、保全活動の連携強化(トロント等)
令和9年度	プロトコル整備・ドキュメント化を継続 コーチ来日、保全活動連携強化(トロント等)
令和10～11年度	園内プロトコルの定着化 AZAへ本申請、インスペクション ➡ <u>認証へ</u>